

一般財団法人総合研究奨励会元役職員における不正行為に関する JPHACKS 組織委員会からのご報告

2026 年 7 月 14 日
JPHACKS 組織委員会

委員長 江崎 浩

2026 年 7 月 10 日、国立大学法人東京大学および一般財団法人総合研究奨励会から、総合研究奨励会の元業務執行理事・事務局長による不正行為が公表されました。

公表資料によれば、当該元役職員は 2016 年から 2026 年にかけて、総合研究奨励会が一般社団法人等から受託した業務の事業収益から、実態のない再委託費名目で約 9,000 万円を、自身が代表を務める法人へ移動させたとされています。また、業務上横領または特別背任に該当する疑いがあるとして、現在も調査および対応が継続されています。

JPHACKS 組織委員会は、本件の公表を受け、当該期間に JPHACKS をご支援いただいたスポンサー、共催・提携校をはじめとする関係者の皆さまに、JPHACKS 関連資金への影響および当委員会の対応について、以下のとおりご報告いたします。

1. 一般財団法人総合研究奨励会、および当該元役職員の JPHACKS における関係について

JPHACKS は、2014 年～2026 年にかけて開催をしておりますが、一般社団法人総合研究奨励会は 2016 年～2025 年まで、JPHACKS 運営事務局として、スポンサー申込窓口、口座入金・資金管理、イベント運営など事務業務全般を請け負っており、当該元役職員は運営事務局長、ならびに JPHACKS のイベント設計、企画を推進する組織委員を務めておりました。

そのため、本事案を受け、JPHACKS 組織委員会では以下の対応を実施いたしました。

2. JPHACKS 関連資金への影響に関する確認

担当者から総合研究奨励会に確認した結果、以下の回答を得ています。

- ・ JPHACKS は、本件で資金流用の対象とされた「総合研究奨励会が一般社団法人等から受託した業務」には該当しない。
- ・ JPHACKS 関連資金を管理する銀行口座は、本件の資金移動の対象となった口座とは別の口座である。

- ・公表資料および上記確認の範囲において、スポンサー協賛金その他の JPHACKS 関連資金が本件不正行為の対象となった事実は、現時点で確認されていない。

なお、東京大学の公表資料においても、総合研究奨励会が「管理の委託を受けていた資金」からの移動・流用は認められなかったとされています。

3. JPHACKS 組織委員会として実施した対応

- ・2026 年からは、運営事務局は組織委員長の江崎が副理事を務める公益財団法人 電気電子情報学術振興財団 に移動を実施しております。
- ・また、当該元役職員を、JPHACKS 組織委員会から除名いたしました。

4. 今後の対応

- ・新たに第三者的、監査的役割を担う事務局長を任命し、資金の支出・承認・確認に関する役割と権限を明確化することで、資金管理の透明性を強化してまいります。
- ・東京大学、総合研究奨励会その他の関係機関による調査・公表を継続して確認し、新たに JPHACKS に関係する事実が判明した場合には、速やかに追加のご報告を行います。

5. 関係者の皆さまへ

本件により、JPHACKS をご支援いただいている皆さまにご心配をおかけしておりますことを、心よりお詫び申し上げます。JPHACKS は、多くのスポンサー、協力企業、教育機関、関係省庁、参加者およびコミュニティの皆さまから寄せられる信頼の上に成り立つ取り組みです。当組織委員会は、本件を重く受け止め、より透明性の高い運営と適切な資金管理に努めてまいります。

※ 本報告は、2026 年 7 月 14 日時点で公表されている資料および当組織委員会が確認した内容に基づいています。

参考. 公表資料

- ・[国立大学法人東京大学「一般財団法人総合研究奨励会の元役職員による当該法人での不正行為に関するご報告」](#)
(2026 年 7 月 10 日)
- ・[一般財団法人総合研究奨励会「当社一般財団法人総合研究奨励会における不正行為の発覚について」](#) (2026 年 7 月 10 日)

お問い合わせ：JPHACKS 組織委員会（公式サイトお問い合わせ窓口）